

売上げの一部、福祉団体に寄付 岐阜市内7社が覚書

3団体と連携、調印式



覚書に調印した企業や福祉団体の代表者＝岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアコスモス

岐阜市内の企業の売上げが福祉団体の収入につながる「ぎふハッピーハッピープロジェクト」の覚書調印式

印式が9日、同市司町の「みんなの森ぎふメディアコスモス」で行われた。市内の企業7社と3団体が社会奉仕活動で連携することを誓った。

プロジェクトはいぶき福祉会（同市島新町）が主催し、2020年度から実施している。企業が商品やサービスを売上げの一部を寄付することで、団体は安定した収入源の確保につながる。企業側は社会貢献をアピールでき、市民も消費活動が寄付に結びつく利点がある。

今回は建設業や税務・会計事務所、ウェブサービスなどの企業がプロジェクトに加わった。調印式で、い

ぶき福祉会の北川雄史専務理事が「『ありがとう』があふれるすてきなまちにしたい」とあいさつした。

（稲葉亮）

覚書に調印した企業、福祉団体は次の通り。

▽企業 文化社、スパード、中部事務機、リーピー、一新建設、藤垣会計事務所、和模型工房

▽福祉団体 サステイナブル・サポート、ヒトノネ、いぶき福祉会